



○営業時間の変更について

令和4年6月30日(木) 15時まで営業

令和4年7月29日(金) 15時まで営業

○西部農機センター出張サービスについて

令和4年7月22日(金) 9:30~14:00 ご利用ください。

## 【温州みかん】

**病害虫防除** \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。う。

7月下旬~8月中旬

○**黒点病** ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100ℓ 又は

ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ

(温州みかん 収穫30日前 4回/温州みかんを除く 収穫90日前 4回)

○ヤノネカイガラムシ エルサン乳剤(劇) 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫14日前 2回

○ミカンサビダニ ダニカット乳剤20 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫14日前 1回

**樹別摘果** (大津・青島)

裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょ。う。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょ。う。

## 【不知火・はるみ・湘南ゴールド】

**病害虫防除** 黒点病の防除が重要となってきます。必ず行いましょ。う。\*温州みかんの項参照(ただし、  
収穫前日数には注意すること。)

7月下旬~8月中旬

○ミカンハモグリガ エクシレルSE 5,000倍 20ml/水100ℓ 収穫前日 3回

アザミウマ類

○ミカンサビダニ ダニカット乳剤20 1,500倍 66ml/水100ℓ 収穫60日前 1回

**摘果**

\*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

\*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょ。う。

\*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮やス上がり果の発生しやすい表層成りの果実をシンニング(摘果)する方法が有効です。

## 【う め】

**病害虫防除** 7月中旬~下旬

○黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫21日前 3回

**礼肥の施用** 5月下旬~7月中下旬

(目的) 樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょ。う。

梅配合 120kg/10a

## —【キウイフルーツ】—

病害虫防除 7月上旬～中旬

- 果実軟腐病 ナリアWDG 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 2回
- キウイヒメヨコバイ モスピラン顆粒水溶剤 (劇) 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫7日前 3回  
カイガラムシ類
- カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

夏季剪定 止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。

\*晴天の日で、土の表面にところどころ日が射す程度

乾燥防止対策 梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。

## —【か き】—

病害虫防除 7月上旬～中旬 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

- フジコナカイガラムシ スミチオン水和剤40 1,000倍 100g/水100㍓ 収穫30日前 3回  
カメムシ類  
イラガ類

- うどんこ病 ストロビードライフロアブル 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫14日前 3回

**カメムシ発生時の対策** 7月上旬～10月下旬(夜間の飛来と加害が多いため、夕方に散布しましょう)

モスピラン顆粒水溶剤(劇) 4,000倍 25g/水100㍓ 収穫前日 3回

\*カメムシは山林から飛来して加害します。農薬散布後も、園内を良く見回しましょう。

摘果 (肥大促進・翌年の花芽分化促進)

7月中旬までに1結果母枝に2～3果、1結果枝に1果を目安に摘果をしましょう。この時期に摘果し肥大促進させないと、以後の肥大が悪くなります。

## —【お 茶】—

病害虫防除 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょ。

6月下旬～7月上旬

- 輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 100g/水100㍓ 摘採14日前 2回  
※剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布する。

7月中旬～7月下旬

- チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 摘採7日前 2回  
チャノキイロアザミウマ  
チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

①二番茶を摘採した場合の管理

**整枝作業**

整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょう。

②二番茶を摘採しない場合の管理

**整枝作業**

整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 一番茶摘採面の2～3cm上で行いましょう。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

\*整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、必ず行いましょう。

—【いちじく】—

病害虫防除 \*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

7月上旬

○アザミウマ類 モスピラン顆粒水溶剤(劇) 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

ギボシカミキリムシ

カイガラムシ類

○疫病 ランマンフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日 3回

7月下旬(梅雨明け後)

○さび病 トリフミン水和剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日 3回

土壤管理

いちじくの根は乾燥・過湿の両方に弱く、この時期の根の伸長具合が収量に大きく影響するので、梅雨期は排水し、梅雨明け後に乾燥が続く場合は灌水を10日に1回程度行いましょう。

\*ただし、株枯病が発生している園では病気が蔓延する恐れがあるので、掛け流し灌水は行わない

—【くり】—

病害虫防除 6月下旬~7月下旬

カミキリムシ類 トラサイドA乳剤 200倍 500ml/水100㍓ 収穫14日前 1回

葉にかからないように樹幹に散布します。

実炭疽病 ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫7日前 2回

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

## 地域農業応援プログラム

### ●農業基盤の維持拡大

- ・高収益簡易施設導入
- ・レモン苗木購入助成
- ・キウイフルーツ苗木購入助成
- ・キウイフルーツ棚の修理及び増設助成

### ●農産物の付加価値化推進

- ・かぶせ茶用被覆資材購入助成
- ・高品質大津4号生産資材購入助成

### ●病害虫駆除対策

- ・スクミリンゴガイ駆除農薬購入助成
- ・クワシロカイガラムシ駆除農薬購入助成

### ●有害鳥獣対策

- ・電気柵、メッシュ柵、くくり罠等の購入助成

### ●農作業効率化及び労力軽減対策

- ・生分解マルチ購入助成

生分解マルチ購入助成。1本あたり2千円を助成。(1名あたり5本まで)

- ・農業機械購入助成

トラクター、ドローン、農業用トラック(軽トラ含む)等エンジン、モーターで駆動する規模拡大または作業効率向上により農業所得増大を目指すために導入する農機具等取得費助成。

本体購入価格(税抜き)	助成額	本体購入価格(税抜き)	助成額
20万円未満	対象外	50万円以上100万円未満	20千円
20万円以上50万円未満	10千円	100万円以上200万円未満	30千円

※詳細については営農経済センター及び支店窓口にてご確認ください